

# ★親子で星空さんぽ★

## 第2夜「春の星座と三日月を見てみよう」

～ 今夜のテーマはこの季節に見える春の星座と三日月のお話です ～

### ■春の星座を見つけだそう

もうすぐ夏なのにまだ春の星座？ と思うかもしれませんが、今ごろの季節と見えている星座と実際の季節では1～2ヵ月ずれてしまいます。それは春ごろに東の空で見える星座が、やっと今の季節に見えやすい位置に来るためです。ですから今が春の星座を見つけやすい季節です。

まず、頭の上に4つの星が四角形にならんでいます。その四角形の右上にひらがなの「く」の字をうら返しにしたような3つの星がならんでいるのを見つけることができるでしょうか？

全部で7つの星が水をくむ「ひしゃく」の形をつくっています。これを「北斗七星」と呼びます。「く」の字のうら返しのカーブをのばしたところに明るい黄色い星があり、そのままカーブをのばすと今度は青白い明るい星にぶつかります。最初の黄色い星を「うしかい座のアークトゥルス」、青白い星を「おとめ座のスピカ」といいます。この星のならびを「春の大曲線」と呼びます。さらに「しし座のデネボラ」をむすぶと「春の大三角」ができます。

そしてこれらの「北斗七星」と「春の大曲線」を使ってほかの星座を見つけ出すことができます。

### ■三日月を望遠鏡で見よう

西の空に細い三日月とひときわかがやく星が2つあります。一つは前回、望遠鏡で雲にかくれたところを見た金星です。もう一つは前回見るができなかった木星です。それぞれの星の説明は前回の資料をご覧ください。

さて、夕方に見える三日月は必ず左上がかけています。また三日月は夕方だけでなく、日の出前の早朝にも見るができます。その時は必ず右上がかけています。なぜ夕方と早朝の月はかけているところがちがうのでしょうか？ ボールを使って簡単な「月の満ち欠け」の実験を試してみたいと思います。

また望遠鏡で細い三日月を見ると、影になっている部分もうっすら形がわかります。

### ■次回7月17日(金)は「土星を観察しよう」です。午後7時30分から

夏の星座の代表的な「さそり座」の上に「わっこ」でおなじみの土星が見られます。望遠鏡を使うとどんな風に見えるのでしょうか？ お楽しみに!!